

2008年度 前期	曜日・校時	木曜日 1・3校時	必修選択	選択	単位数	2
授業科目/(英語名)	日本語 Advanced Japanese					
対象年次	1・2年次	講義形態	演習	教室	229	
対象学生(クラス等)	留学生・全学部		科目分類	留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員： 松本久美子 / Eメールアドレス： kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp /研究室： 留学生センター /TEL： 095-819-2242 /オフィスアワー： 水曜日 4・5校時					
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標						
<p>授業のねらい： 日本の大学の学部で学習・研究するのに必要な総合的な日本語能力を習得する。</p> <p>授業方法： 発表担当者は自分が選んだ新聞記事の内容について発表する。次に、その記事に関連したテーマについてクラス全体での討論を行う。</p> <p>授業到達目標： 発表の方法、討論の際に必要な表現を学び、日本語で自分の考えをまとめて発表したり、その内容について討論したりすることができる。</p>						
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)						
<p>授業内容(概要)</p> <p>各回2コマ。1コマ毎に発表担当者を決め、発表とその内容についての討論をクラス全体で行う。新聞記事の中の語彙についての小テストを1限目の最初に実施する。</p> <p>各回2コマ</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 発表の仕方(注意事項等) 第3回 発表・討議 第4回 小テスト 発表 討議 第5回 小テスト 発表 討議 第6回 小テスト 発表 討議 第7回 小テスト 発表 討議 第8回 小テスト 発表 討議 第9回 小テスト 発表 討議 第10回 小テスト 発表 討議 第11回 小テスト 発表 討議 第12回 小テスト 発表 討議 第13回 小テスト 発表 討議 第14回 小テスト 発表 討議 第15回 まとめ/授業評価</p> <p>開講後、受講者の人数によっては発表回数を変更する場合もある。</p>						
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得					
教科書・教材・参考書	そのとき話題となっている新聞記事を使用する。また、適宜プリントを配布する。					
成績評価の方法・基準等	評価は、発表及びその準備 40%、授業参加の積極性 30%・テスト 30%によって行う。					
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力(とくに発表・ディスカッション能力)の習得。					
備考(準備学習等)	1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。					